



日本シイエムケイ株式会社
(証券コード：6958)

2018年3月期 第2四半期 決算説明会資料

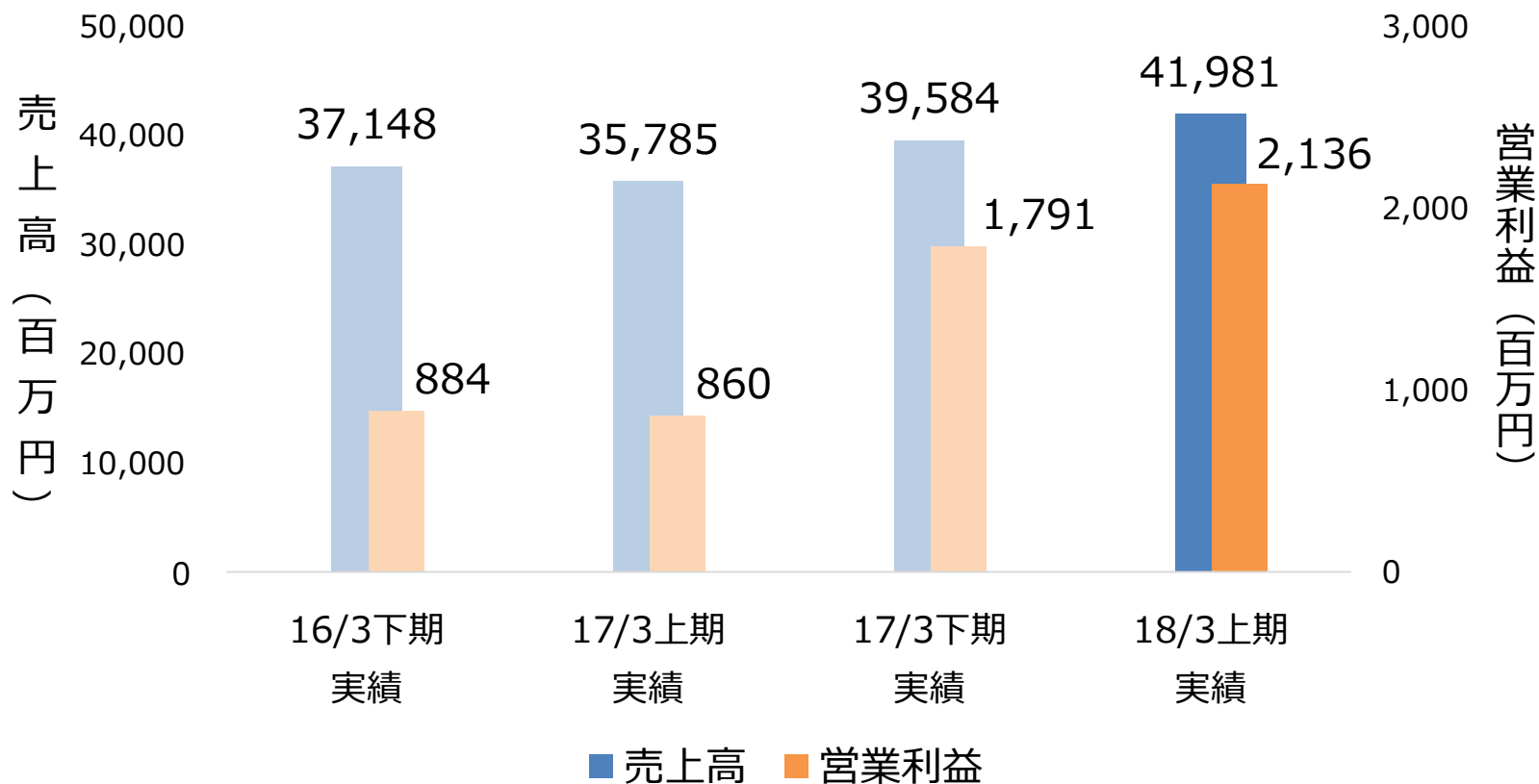
2017年11月17日
日本シイエムケイ株式会社

1. 2018年3月期上期 連結業績
2. 車載基板市場の動向および
当社販売状況について
3. 補足資料

1. 2018年3月期上期 連結業績

① 決算のポイント

- 主力の車載向けでの受注増加基調が継続
- 生産能力増強、生産性向上により、売上拡大と収益改善を同時に実現



②連結損益

全利益項目において、前年同期比2倍超の利益を達成

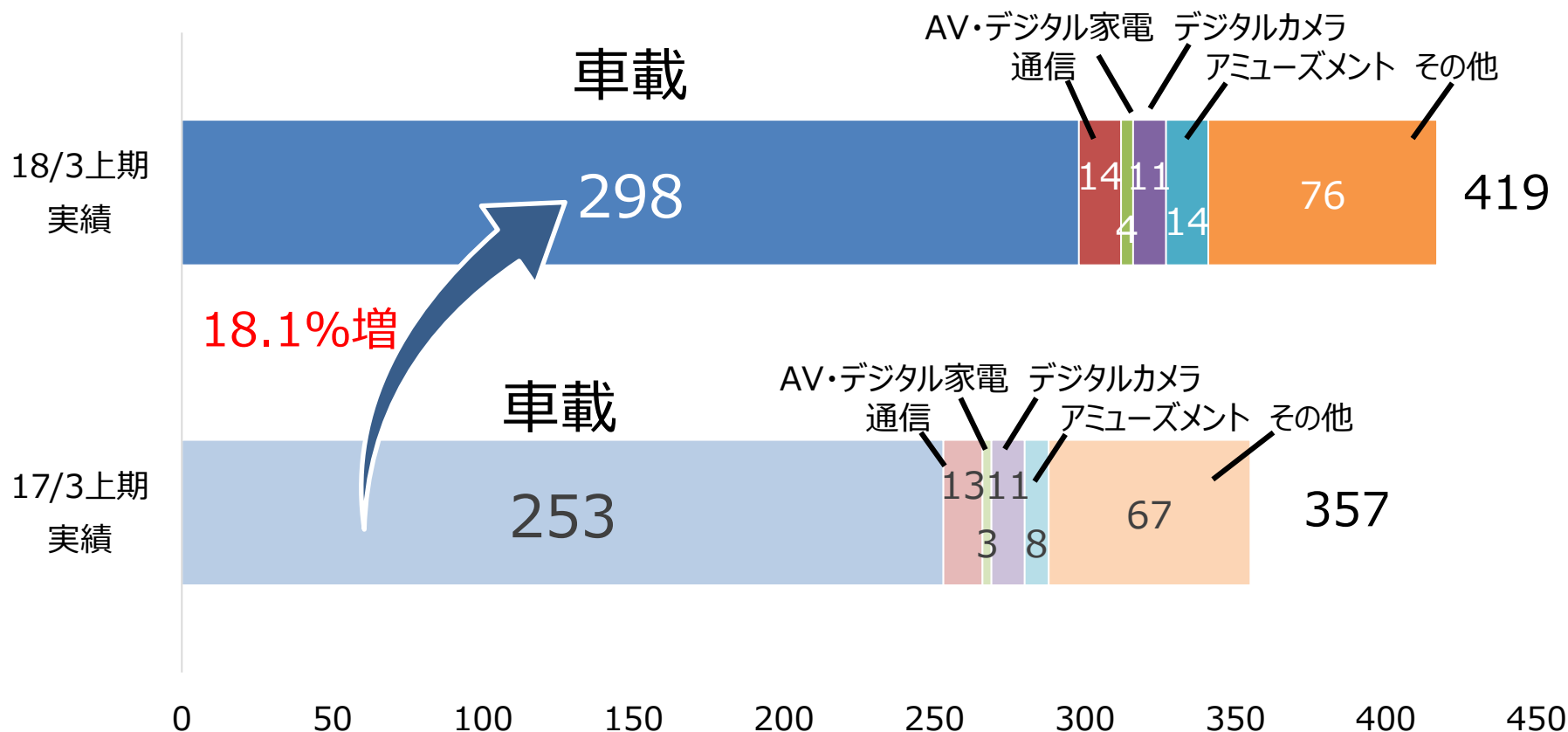
(単位：百万円)

	17/3上期 実績	18/3上期 実績	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	35,785	41,981	+6,195	+17.3%
営業利益	860	2,136	+1,276	+148.4%
率	2.4%	5.1%	+2.7%	
経常利益	776	1,984	+1,207	+155.5%
当期純利益	802	1,630	+827	+103.1%
為替レート (USD/JPY)	111.47	112.12	+0.65	+0.6%

※「親会社株主に帰属する当期純利益」を「当期純利益」として記載 5

③用途別売上高

(単位：億円)



- 自動車の電装化進展が追い風となり、車載向けは好調を維持
- アミューズメントは、人気のゲーム機向け販売が増加

④ 海外生産能力増強

タイ



CMKタイ (両面・多層貫通・ビルドアップ)

- ・ 車載中心に受注が旺盛な状況
- ・ 17/9末で前期比30%の生産能力増強完了
(当初予定より前倒し)

中国



CMK無錫 (ビルドアップ)

- ・ 車載向けでビルドアップ配線板の採用が増加
- ・ 17/6末で前期比30%の生産能力拡大完了

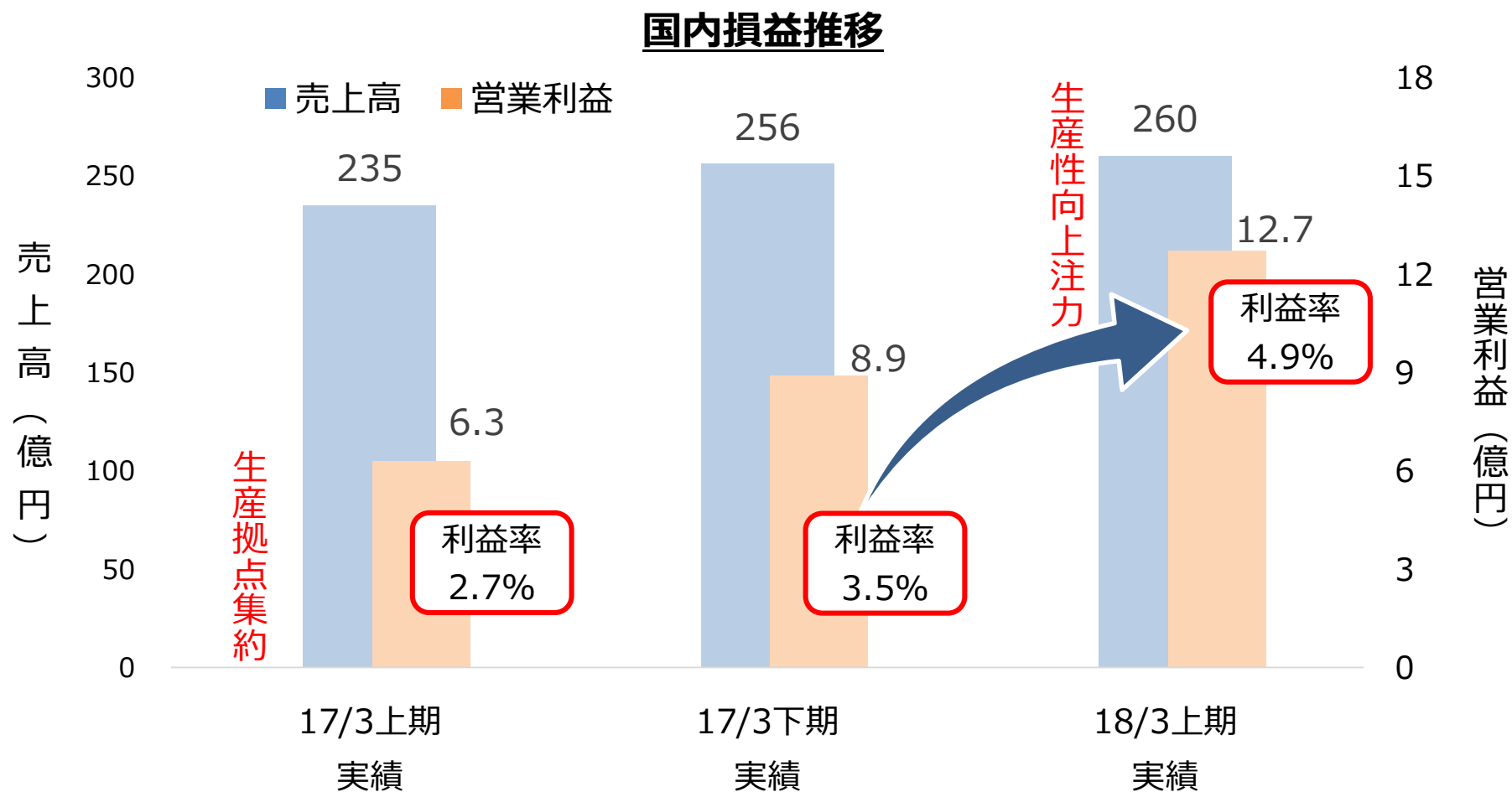


旗利得電子 (両面・多層貫通)

- ・ 車載向け工場で、フル稼働状態が継続

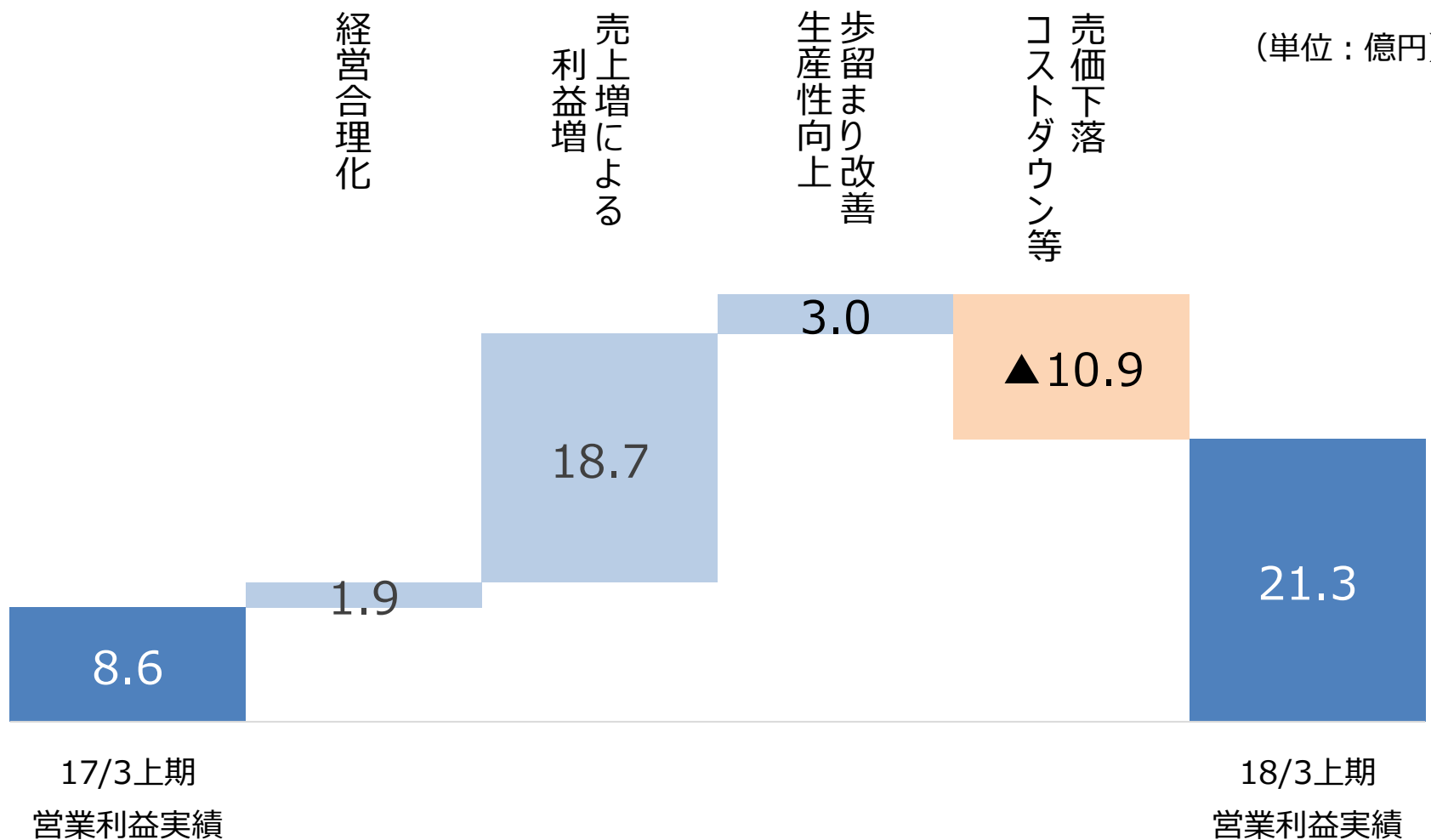
全工場でフル生産の状況が継続しており、
更なる生産能力増強も検討中

⑤国内生産性向上



- 新潟工場を中心とした生産性向上活動に注力した結果、国内の営業利益率は1.4ポイント改善
- 下期以降、更なる収益改善を見込む

⑥ 営業利益増減分析



車載向けを中心に受注が好調に推移する中、生産能力増強を進めた結果、売上増による利益増が全体を牽引

⑦通期見通し

(単位：百万円)

	17/3通期 実績	18/3通期 見通し	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	75,370	80,000	+4,629	+6.1%
営業利益	2,652	4,000	+1,347	+50.8%
率	3.5%	5.0%	+1.5%	
経常利益	2,628	3,700	+1,071	+40.7%
当期純利益	2,153	3,000	+846	+39.3%
為替レート (USD/JPY)	109.28	110.00	+0.72	+0.7%

※「親会社株主に帰属する当期純利益」を「当期純利益」として記載 10

2. 車載基板市場の動向および 当社販売状況について

① 自動車市場の動向

1. 新車販売台数の増加

- グローバルでの新車販売は堅調に推移
- 経済成長率の高い、中国やインドの自動車普及率は未だ低い水準にあり、今後も市場拡大が続く見込み

2. 環境対応による次世代自動車(PHV・EV等)の普及

- 今年に入り、世界各国で燃費・排ガス規制が更に強化
- 自動車メーカー各社、次世代自動車へ開発をシフトしており、今後、急速に普及が進むと予測される

3. 先進運転支援システム(ADAS)の普及

- 予防安全・運転支援のニーズの高まりから、ADASが加速的に普及
- 日本政府も、自動ブレーキの新車乗用車搭載率を2020年までに9割以上とする目標を設定

② 自動車の電装化進展

自動車の環境対応・高機能化により搭載が増加するECU (2015～2021年の年平均市場成長率が10%以上のECU)

HV/PHV/EV/FCV系ECU

バッテリー監視
ハイブリッド制御
DC-DCコンバーター
モーター駆動
車載用充電器

走行安全系ECU

スマートセンサー/アクチュエーター

ADAS/自動運転システム
レーダーセンサー
車載カメラ
パワーウィンドウスマートモーター

パワートレイン系ECU

アイドリングストップ
DIエンジン



ボディ系ECU

パワーマネジメント
ヘッドランプ



情報通信系ECU

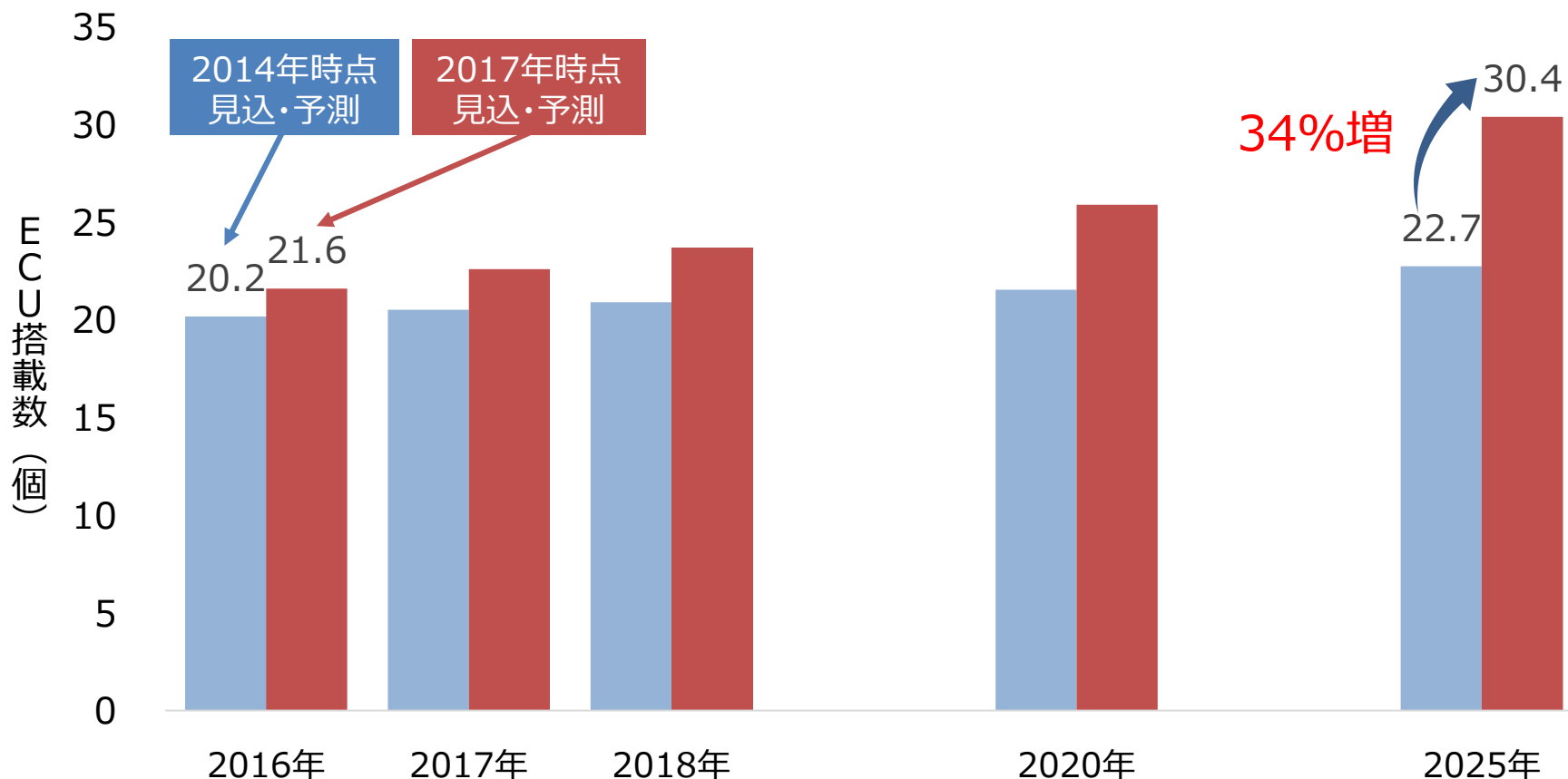
IVIシステム
テレマティクス



次世代自動車およびADASの普及により、
自動車に搭載されるECUが急激に増加

③車載ECU搭載数の変化

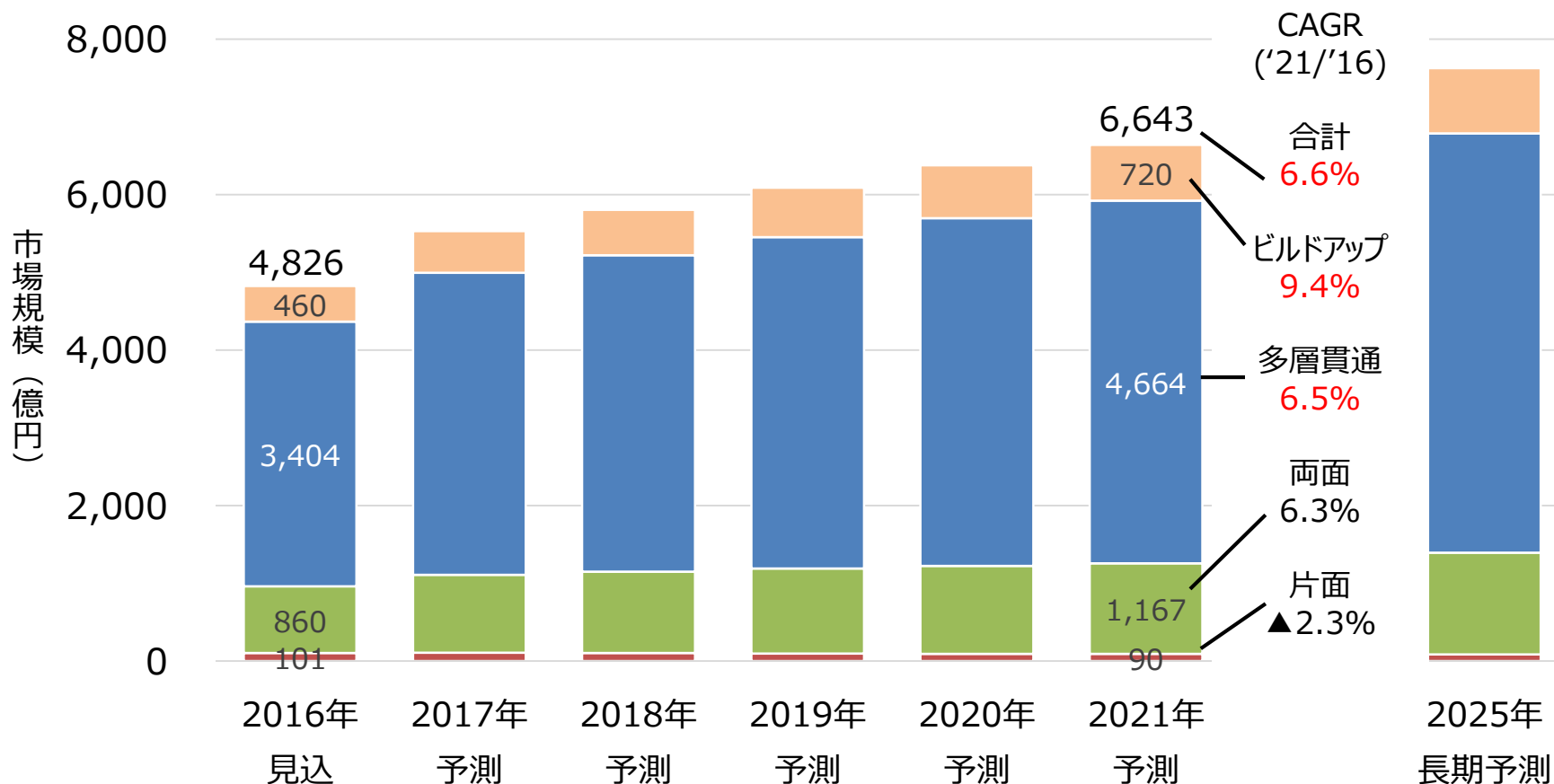
自動車1台あたりのECU搭載数



電装化進展の加速により、
ECU搭載数は2014年予測を上回るペースで増加

④ 車載基板市場規模

車載向けリジット基板 市場規模予測



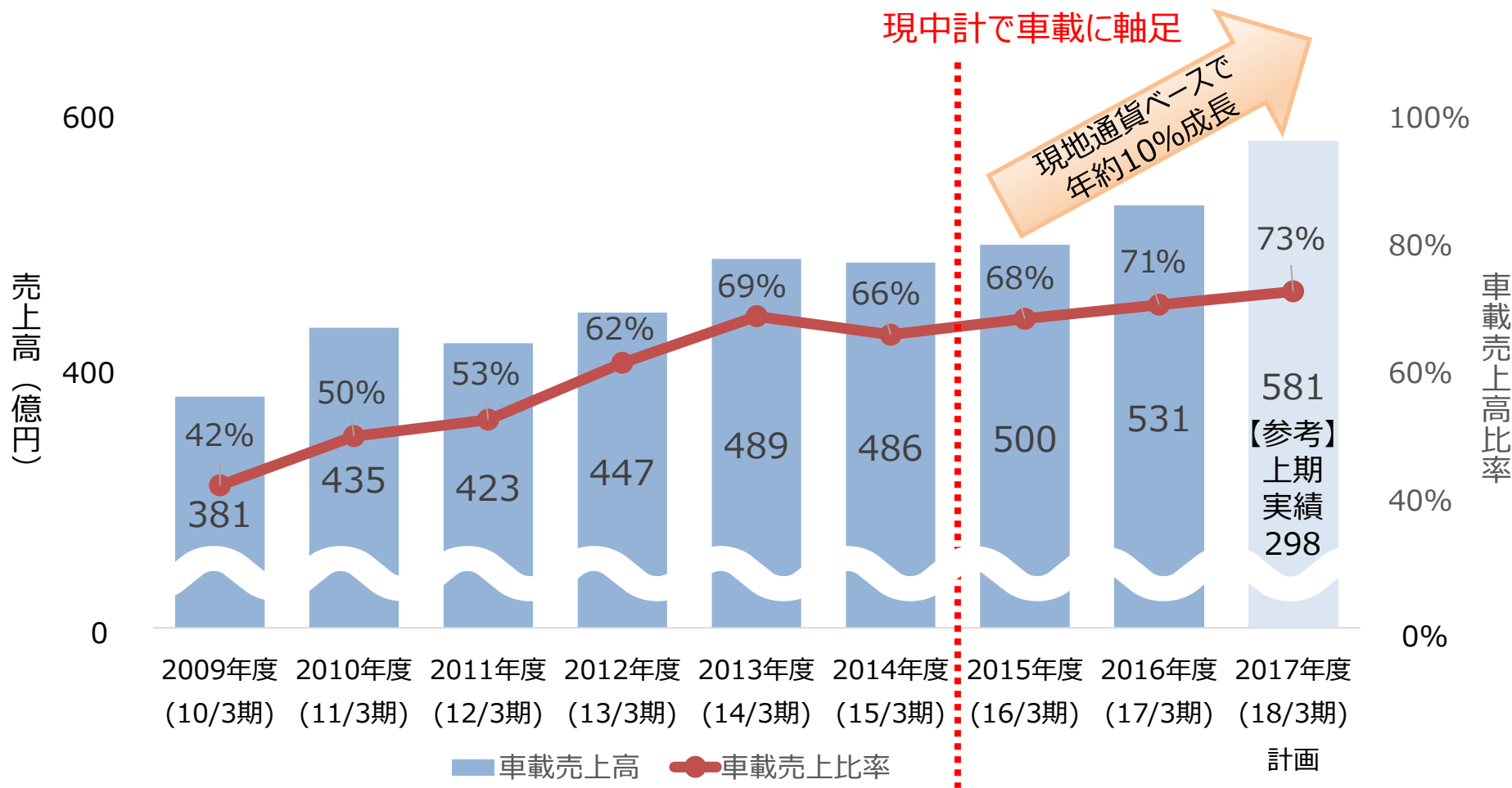
自動車の電装化進展により
 新車販売台数の伸び以上に車載基板市場が拡大する見込み

※CAGR(Compound Average Growth Rate) : 年平均成長率

※出所: 「車載電装デバイス&コンポーネンツ総調査2017《下巻: ECU関連デバイス編》」富士キメラ総研より当社作成

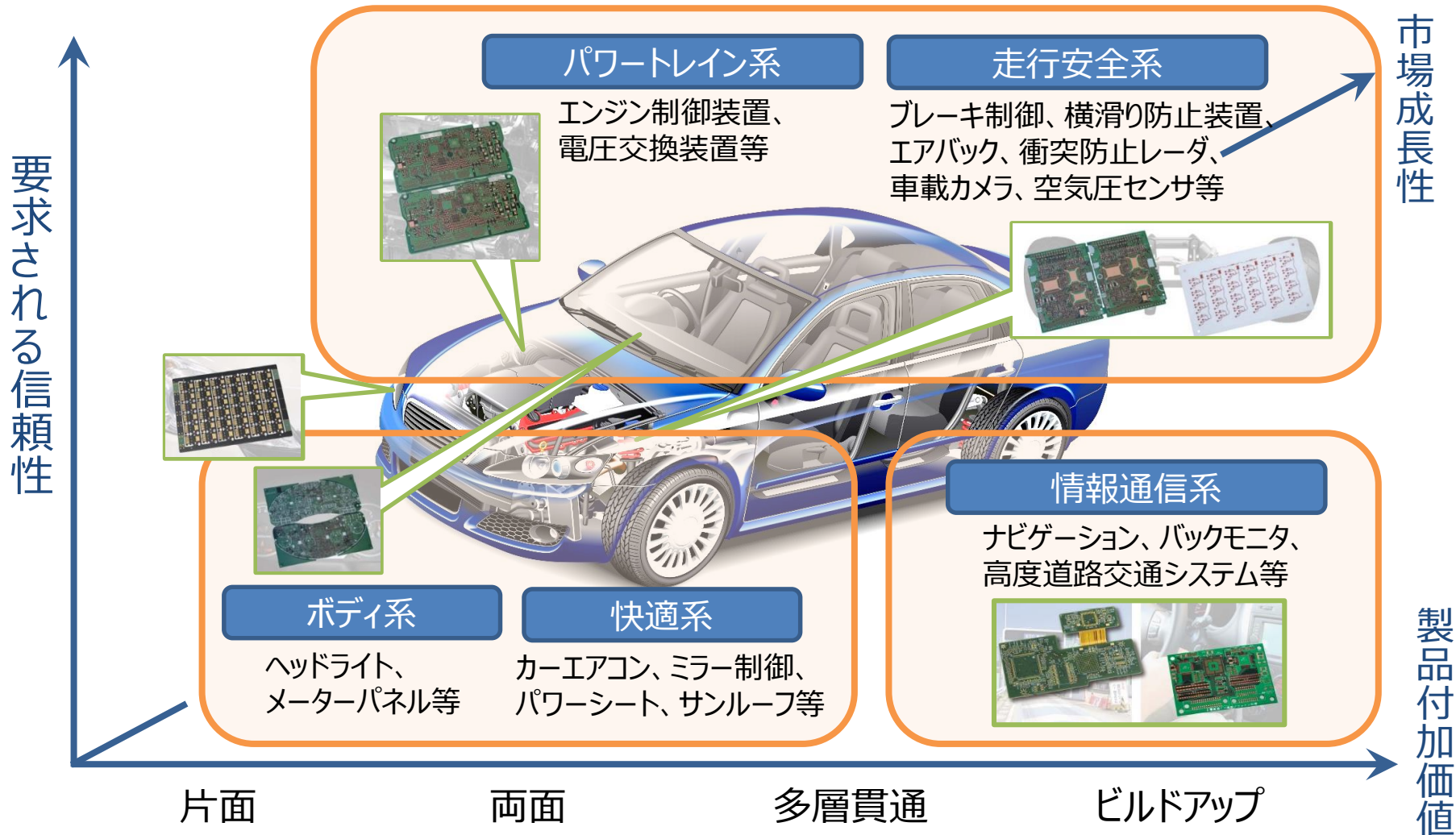
⑤ 当社車載向け売上高推移

当社車載向け売上高



現中期経営計画にて、車載に軸足を置き、
 車載向け売上高は現地通貨ベースで年約10%成長に

⑥ 基板用途と当社位置付け



当社は、市場成長性、製品付加価値、信頼性が高い事業領域に注力しており、パワートレイン系・走行安全系かつビルドアップ配線板の販売が年々増加

⑦外資系顧客への拡販

- 現中期経営計画にて、「海外での売上拡大」を重点施策の一つとし、外資系顧客への販売を強化

【進捗状況】

- 外資系大手顧客からの車載向け受注が当初予定通り着実に増加
- 中国の旗利得電子では、今上期の外資系顧客向け売上比率が前期比2倍超に
- 今後は、CMKタイにおいても外資系顧客への販売が大きく拡大する見込み

成長分野への注力に加え、外資系顧客への販売拡大により、
車載基板市場での競争優位確立を図る

3. 補足資料

①用途別売上高



(単位：億円)

	17/3上期 実績	18/3上期 実績	前年同期比	18/3通期 見通し
車載	253	298	+45	581
通信	13	14	+1	29
AV・デジタル家電	3	4	+0	15
デジタルカメラ	11	11	-0	20
アミューズメント	8	14	+5	21
その他	67	76	+8	130
合計	357	419	+61	800

②基板種類別売上高



(単位：億円)

	17/3上期 実績	18/3上期 実績	前年同期比	18/3通期 見通し
ビルドアップ配線板	101	129	+27	235
多層プリント配線板	152	177	+25	357
両面プリント配線板	69	76	+6	129
その他	34	36	+2	76
合計	357	419	+61	800

③地域別業績



(単位：億円)

	17/3上期 実績		18/3上期 実績		前年同期比		18/3通期 見通し	
	売上	営業 利益	売上	営業 利益	売上	営業 利益	売上	営業 利益
日本	235	6.3	260	12.7	+24	+6.4	493	19.9
中国	104	3.0	141	6.3	+36	+3.2	277	16.8
東南アジア	78	1.3	99	2.2	+21	+0.8	210	6.7
欧米	27	1.2	29	1.8	+2	+0.5	54	3.1
計	446	12.0	531	23.1	+85	+11.1	1,034	46.7
消去又は全社	▲88	▲3.4	▲111	▲1.8	▲23	+1.6	▲234	▲6.7
連結	357	8.6	419	21.3	+61	+12.7	800	40.0

④設備投資



(単位：億円)

	17/3上期 実績	18/3上期 実績	前年同期比	18/3通期 見通し
国内	13	7	-6	21
海外	10	33	+23	38
連結	24	40	+16	60
減価償却費	21	19	-1	42

本資料における将来情報は、2017年11月時点での見通しであり、
その実現を保証するものではありません。

(金額は切捨て、%は小数第二位を四捨五入にて表示)

END